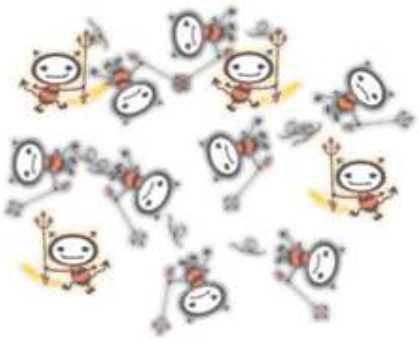
豆知識

■「滅菌」とは？　～消毒と滅菌の違い～

「滅菌」とは読んで字のごとく、器具に付着する全ての細菌やウィルスなどの微生物を死滅させることを言います。「消毒」と混同されがちですが、似て非なるものなのです。

滅菌：有害な菌も無害な菌も関係なく、全てを死滅させる行為です。
消毒：感染症が発症しない数まで細菌を死滅させる、目的レベルまでの行為です。

消毒のイメージ



滅菌のイメージ

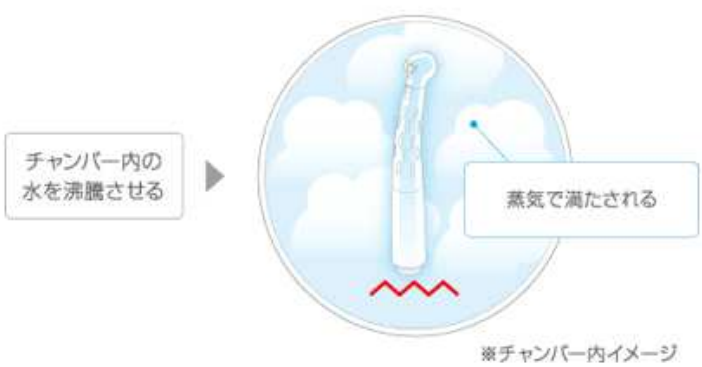


■治療に使用する器材は、どう扱えば良いのでしょうか？

「感染予防」という観点では、人間の体内や血管の中は無菌状態であると考えるため、無菌の部位に入っていく治療器具・器材は「無菌」でなければならない、つまり全ての微生物を死滅させる「滅菌」が必要です。

■「滅菌」はどのようにするのでしょうか？

医療分野では一般的にオートクレーブと呼ばれる蒸気滅菌器が使われています。器具に付着した微生物を130℃以上の高温蒸気にさらすことで、構成しているたんぱく質を変性させ死滅させる仕組みです。
信頼性が高く、広く普及していますが、もし蒸気が当たっていない部分があれば、そこにいる微生物は死滅せずに残ることになります。
つまり従来の方法と比較しても、より確実で優れた滅菌方法がclassBの滅菌といえるのです。



※チャンバー内イメージ

